

卒業生の皆様
学生の保護者の皆様

皆様こんにちは。名古屋工業大学卒業生連携室です。

このたびの令和8年熊本地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。本学では、社会工学類の北川啓介教授が被災地に赴き、八代市、氷川町などの自治体と連携し、自ら開発した「インスタントハウス」を提供する支援活動に取り組んでいます。被災地の一日も早い復旧・復興を、心よりお祈り申し上げます。

また、9月8日に名古屋市を中心に発生した記録的な大雨により、浸水や交通機関への影響など、各地で大きな被害が発生しました。被害に遭われた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早く平穏な生活が戻りますことを、心よりお祈り申し上げます。

災害は、いつ、どこで起こるか分かりません。9月は防災について改めて考える機会でもあります。この機会に、防災用品や避難場所、ご家族との連絡方法など、日頃の備えを今一度確認してみてもいいでしょうか。

それでは、ニュース、イベント情報等お知らせいたします。

名古屋工業大学 卒業生連携室 メールマガジン No. 90
2026年9月号

【目次】

- 1 ニュース
- 2 イベント
- 3 研究関連情報
- 4 教員の受賞
- 5 学生の活躍
- 6 公開講座
- 7 名古屋工業会・学科同窓会
- 8 奨学金等
- 9 リンク
- 10 卒業生連携室から

1 ニュース

○ 熊本地震の被災地でインスタントハウスを提供する支援活動を実施

社会工学類の北川啓介教授は、熊本地震の発災後すぐに被災地へ赴き、八代市、氷川町などの被災自治体との連携を進め、本学で研究開発した屋外用インスタントハウスを提供しています。北川教授は、2024年の能登半島地震、2023年のトルコ・シリア大地震の被災地、モロッコ大地震の被災地にもインスタントハウスを提供しており、被災者の視点に立った研究開発と、発災後の復旧・復興支援に継続して取り組んでいます。

被災地の一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

<https://www.nitech.ac.jp/news/news/2026/14175.html>

インスタントハウス基金へのご支援はこちらからお願いいたします。

<https://www.nitech.ac.jp/kikin/contribution/support-instant-products.html>

○ 文部科学省「先端研究基盤刷新事業（EPOCH）」に連携大学として採択

本学は、文部科学省「先端研究基盤刷新事業（EPOCH）」に連携大学として採択されました。本事業は、我が国の研究力強化に向けて、研究者が研究に専念できる魅力的な研究環境の実現を目的とし、全国の研究大学等においてコアファシリティを戦略的に整備するものです。技術職員やURA等の専門人材、先端研究設備・機器、AI for Scienceを支える高品質な研究データ基盤を一体的に強化するとともに、産業界や学会等との連携を通じて、研究基盤・研究インフラのエコシステム形成を推進します。

採択期間である令和8年度から令和17年度までの10年間、連携大学として先端計測共用拠点を整備し、提案大学である東海国立大学機構等とともに、研究基盤の高度化と研究力のさらなる向上に取り組めます。

<https://www.nitech.ac.jp/news/news/2026/14176.html>

○ 南山大学と包括連携協定を締結

本学は、2026年7月30日、教育・研究及び地域社会との共創を推進するため、南山大学と包括的な連携協定を締結しました。

両大学は名古屋市昭和区にキャンパスを構えており、日常的に交流が可能な近接した環境にあります。こうした地理的な利点も生かし、本協定の締結により、南山大学が長年培ってきた人文・社会科学分野の深い学術的知見と、名古屋工業大学が有する理工系分野における実践的な教育・研究力を融合することで、複雑化・多様化する社会課題に対し、分野を超えて解決策を考え、社会に実装できる人材の育成を目指します。

本協定に基づき、両大学の学生が共同で社会課題に取り組む文理融合型PBL（課題解決型学習）をはじめ、単位互換制度の充実、地域課題解決プロジェクトの展開、国際的な視野を備えた人材育成など、多様な分野において具体的かつ実践的な連携を進めます。

<https://www.nitech.ac.jp/news/news/2026/14154.html>

2 イベント

○ オープンキャンパスを開催

7月31日に、オープンキャンパスを開催しました。昨年を大きく上回る4,606名が来場し、講演会、学科・課程別の模擬授業や研究室見学、研究室公開、座談会、個別相談会、学内ツアーなど多彩なプログラムを実施しました。

参加者からは「実際に来ないと分からない大学の雰囲気やイメージがつかめてよかった」「将来自分がどのように活躍できるか考えることができた」などの声が寄せられました。

<https://www.nitech.ac.jp/news/news/2026/14194.html>

3 研究関連情報

- 糖鎖の「枝分かれ」が酵素の切断位置を左右する仕組みを解明 — β -1,3-グルカン分解酵素が糖鎖を認識・切断する仕組みを分子レベルで明らかに—

本研究成果により、複雑な糖鎖構造と酵素機能との関係をより詳細に解明し、糖質関連酵素の基質認識機構の理解を深めることが期待されます。

<https://www.nitech.ac.jp/news/press/2026/14250.html>

- 線虫の"生体分子の地図"を赤外線で可視化 ～タンパク質の構造分布を捉える新しいイメージング技術を開発～

本研究成果は、蛍光色素などで標識することなく、生体内のタンパク質構造を可視化する新しい技術基盤となるものであり、将来的にはアルツハイマー病などの神経変性疾患研究への応用が期待されます。

<https://www.nitech.ac.jp/news/press/2026/14249.html>

- 短距離秩序を利用した新しい材料設計原理を解明 — 放射光と第一原理計算で熱電材料の設計指針を提示 —

本研究成果は、元素の種類や組成だけでなく、原子の局所的な並び方である短距離秩序を利用した新たな材料設計指針を提示するものであり、熱電材料に加え、半導体や磁性材料、触媒など、幅広い機能性材料の設計・開発への応用が期待されます。

<https://www.nitech.ac.jp/news/press/2026/14220.html>

- 海洋性ビブリオ菌のべん毛モータータンパク質 FliL の動態を解明 ～細菌が持つ極小分子モーターが効率よく回転する分子機構の解明に期待～

本研究成果により、FliL の機能と固定子複合体への相互作用を明らかにすることで、病原性細菌の運動能を制御し、病原性や感染性の不活化、および生体分子を模倣した極小分子モーターの開発につながると期待されます。

<https://www.nitech.ac.jp/news/press/2026/14195.html>

- 可視光と触媒で実現する環境にやさしいハウ素化戦略 ～ 常温・常圧下でシアノ基をアミンハウ素基へ変換 ～

本研究成果により、光触媒サイクルを精密に設計することで、従来のラジカル付加型反応とは異なるラジカルーラジカルカップリングを鍵とする新しい合成戦略を実証しました。これにより、アミンハウ素ラジカル化学の応用範囲を大きく広げるとともに、今後のハウ素ラジカル化学および有機合成化学のさらなる発展につながることが期待されます

<https://www.nitech.ac.jp/news/press/2026/14160.html>

- 光で新しい秩序が生まれ、物質状態が変わる過程を観測 — 金属—有機構造体 (MOF) が拓く非平衡材料科学の新展開 —

本研究成果は、光によって非平衡な物質状態を超高速で制御する方向性を示すものであり、新しい光応答材料の設計につながると期待されます。

<https://www.nitech.ac.jp/news/press/2026/14152.html>

4 教員の受賞

本学の教員が優れた功績を認められ、受賞等されましたのでお知らせいたします。

○ 日本機械学会機械材料・材料加工部門功績賞

松本 良 教授が受賞しました。

<https://www.nitech.ac.jp/research/news/14289.html>

○ 第1回東海テックプラングランプリ最優秀賞・トーカイ賞

岸 直希 教授らの研究グループが受賞しました。

<https://www.nitech.ac.jp/research/news/14186.html>

○ 第62回電気保安功労者経済産業大臣表彰

安井 晋示 教授が受賞しました。

<https://www.nitech.ac.jp/research/news/14202.html>

○ 第47回日本光医学・光生物学会奨励賞

角田 聡 特任准教授が受賞しました。

<https://www.nitech.ac.jp/research/news/14144.html>

○ The Next-Generation Championship in Branch Prediction (CBP-NG) 1st Place

小泉 透 助教、津邑 公暁 教授らのグループが受賞しました。

<https://www.nitech.ac.jp/research/news/14127.html>

5 学生の活躍

学生たちが素晴らしい活躍をしています。これからも学生の皆さんの素晴らしい活動を楽しみにしています！

<https://www.nitech.ac.jp/campus/news/index.html>

6 公開講座

多くの方々からご好評をいただき、心より感謝申し上げます。

2026年度の公開講座を実施しています。対象は小学生から技術者までと幅広く、種々の講座を開講しております。皆様の多数の受講お申込みをお待ちしております。現在は5つの講座が受付中です。

<https://www.nitech.ac.jp/social/course/list.html>

7 名古屋工業会・学科同窓会

○ 名古屋工業会

名古屋工業大学における教育研究の支援を行うと共に、会員相互の連絡啓発を行い、学術・文化の発展に寄与することを目的として、活動を行っています。

<https://www.nagoya-kogyokai.jp/>

○ 単科会

各学科の同窓会組織です。

<https://alum.nitech.ac.jp/links/tanka.html>

○ 2026年 巴会理事会・総会の開催

下記の通り、理事会・総会を開催します。

日時：2026年11月14日（土）14:00～15:00

場所：名古屋工業大学 3号館 2階 0321室

詳細は、下記のURLをご確認ください。

<http://tomoe.web.nitech.ac.jp>

○ 2026年 第49回 経友会総会・講演会の開催

下記の通り、総会・講演会を開催します。

日時：2026年11月14日（土）15:00～16:30

会場：名古屋工業大学 4号館 2階会議室3

講師：坂野 岳人 氏（経営工学科1986年3月卒）

講演タイトル：「経営工学（社会工学）と、商社 x 海外 x 経営 x デジタル／AI」

詳細は、下記のURLをご確認ください。

<https://keiyukai.web.nitech.ac.jp/archives/443>

8 奨学金等

- 本学では授業料免除の他、多様な奨学金制度を設けており、学生の経済的支援を行っております。受付期間などをご確認ください、申請遅れのないようご注意ください。

<https://www.nitech.ac.jp/campus/support/joukyo.html>

9 リンク

○ 名古屋工業大学ホームページ

メールマガジンにて掲載している内容だけでなく、大学の動向が一目でわかるようなコンテンツとなっておりますので、是非訪れてみてください。

<https://www.nitech.ac.jp/>

○ 基金のページ

産業界、地域社会、そして卒業生の皆さまから支持される魅力的な大学づくりを目指し、世界へ羽ばたく多くの学生・研究者を支援するため、皆さまからの御寄附・御支援をお願いしております。

<https://www.nitech.ac.jp/kikin/>

○ 卒業証明書等申請

<https://www.nitech.ac.jp/campus/procedures/certificate.html>

- キラリ卒業生 社会で活躍する名工大卒業生
幅広い業界に就職し、活躍している卒業生が掲載されています。
<https://www.nitech.ac.jp/prospective/activity/index.html>

- 名古屋工業大学産学官金連携機構
企業様のアウトカムを創出していくよう、研究計画からアウトプットまで丁寧に支援をさせていただきます。
<https://sanren.web.nitech.ac.jp/>

10 卒業生連携室から(連絡先メールアドレス：renkei@adm.nitech.ac.jp)

- 学科同窓会会員名簿の管理について
学科同窓会の協力を得て、卒業生名簿の大学管理への移行を進めています。住所変更等の情報をお知らせください。なお、CE会の会員様は、CE会名簿修正フォームにて、御自身で変更することも可能です。

https://ssl.cekai-nitech.jp/form/ce_edit_member_form

- 卒業時又は卒業後の登録情報に変更がございましたら、御連絡ください。
- 大学訪問時の御案内等について
卒業生の皆様が同窓会でキャンパスを訪問された際に、キャンパス案内をお引き受けしております。お気軽にお申し出ください。
- 卒業生連携室ホームページ
<https://alum.nitech.ac.jp/index.html>

-
- ・ メールマガジンバックナンバーはこちら
<https://alum.nitech.ac.jp/backnumber/>
 - ・ 配信停止は、登録されているメールアドレスから、件名を「メールマガジン配信停止希望」と記載し、本文に以下の事項を記入の上、名古屋工業大学卒業生連携室までメールをお送りください。

本文記入事項

§ 在学生の保護者の方

(1) 学生(在学されている方)の氏名

§ 卒業生の方

(1) 氏名

(2) 卒業・修了された年月

(3) 在学時の学生番号(不明な場合は「不明」と記入。)

送信先：renkei@adm.nitech.ac.jp